

共生 地域福祉フォーラム

「お互いさまの暮らしをめざして」

～ 今、わが町に求めるもの ～

10/21 日 12:30～16:40
2018年

手話通訳が入ります

〈受付／12:00より〉

会場／サンシップとやま (1階福祉ホール)
富山県富山市安住町5-21 TEL(076)432-6141

資料代
1,000円

1993年「富山型デイサービス」が誕生して、25年になりました。今では県内125カ所、全国には2000カ所に増えています。
「死ぬまでこの町で自分の家で暮らしたい」と願う人たちに寄り添い活動しています。
平成27年、塩崎厚生労働大臣がこのゆびとーまれを訪れ、1年後には「我が事・丸ごと」と銘打った地域共生社会づくりの政策転換が打ち出されました。
平成30年度介護報酬改定では、「共生型デイサービス」が新設されました。課題はいくつもありますが、前進したと受け止めています。
今回、様々な人達が本音で語り、日本の福祉がこれで良いのかを考えようじゃありませんか。

プログラム 総合司会：佐伯知華子（ひらすま）

12:30 ■ 開会

開会の挨拶：惣万佳代子（富山ケアネットワーク会長）
来賓の挨拶：石井 隆一（富山県 知事）

12:40 ■ 祝・富山ケアネットワーク20周年

富山型コレクション！ファッションショー？土俵入り？
インタビュアー：西村 和美（このゆびとーまれ）

13:30 ■ 祝・このゆびとーまれ25周年

休憩（10分）

14:20 ■ パネルディスカッション 「今、わが町に求めるもの」

パネリスト

★藤井友里子（パラスポーツボッチャ選手）
★上原 公子（日本ダウン症協会富山支部「つなGO」支部長）
★川添 夏来（ぴーなっつ理事長、あっぷの会世話人）
★宮袋 季美（ふらっと代表）

コーディネーター

★村上 満（富山国際大学こども育成学部教授）

15:30 ■ 鼎談「日本の福祉の未来とは」

★内山 博之（厚生労働省援護局 障害福祉課長）
★宮島 渡（長野県宅老所・グループホーム連絡会理事長）
★惣万佳代子（富山ケアネットワーク会長）

16:40 ■ 閉会

閉会の挨拶：喜多 聡美（ありがた家） 〈敬称略〉

●主催：富山ケアネットワーク

●後援：富山県、富山県教育委員会、富山市、(福)富山県社会福祉協議会、(福)富山市社会福祉協議会、北日本新聞社

●共催：宅老所・グループホーム全国ネットワーク

●問い合わせ：実行委員会事務局／デイケアハウスにぎやか（担当：太田）

Tel 076-431-0466 Fax 076-431-0486

※この事業は富山県「地域福祉フォーラム開催事業」より補助金を受けて実施しています。



富山型デイサービスとは？

赤ちゃんからお年寄りまで、障がいがあってもなくても誰もが身近な地域で必要なサービスを受けられる場所、それが「富山型デイサービス」です。
平成5年、病院を退職した3人の看護師が立ち上げた「このゆびとーまれ(富山市)」から始まりました。

ひとつ屋根の下、共に過ごす共生の場は開所当時より全国的に注目を浴びましたが、当時は介護保険もなく、行政の支援もない中での厳しい運営でした。
平成9年度より補助金が交付され、行政と富山型との協働はさらなる普及への後押しとなり、富山県内だけでなく全国へ、広がりました。惣万佳代子は平成27年、第45回フローレン・ナイチンゲール記章を受章し、平成30年、内閣府男女協働参画課推薦により藍綬褒章を続けて受章しました。

富山型デイサービスのこれまでの実績が認められ「地域共生社会の実現」に向けて、国政も積極的に取り組んでいます。

今後も「よい介護をしよう」「よい仲間を作ろう」「共に生きよう」を合言葉に活動を続けていきたいと思えます。

- 定員/300名(定員になり次第締め切らせていただきます)*当日参加も可能です。
- 申し込み締め切り/10月5日(金) ※人数の把握のため事前の申し込みをお願いします。



お申込みは
FAX またはメールで

お申込み先 実行委員会事務局 / デイケアハウスにぎやか
FAX 076-431-0486 メール toyamacarenetwork@gmail.com

●ご氏名	●所属 (勤務先など)
●ご住所	
●電話番号 () —	●メールアドレス

●ご氏名	●所属 (勤務先など)
●ご住所	
●電話番号 () —	●メールアドレス

●ご氏名	●所属 (勤務先など)
●ご住所	
●電話番号 () —	●メールアドレス

●ご氏名	●所属 (勤務先など)
●ご住所	
●電話番号 () —	●メールアドレス

●ご氏名	●所属 (勤務先など)
●ご住所	
●電話番号 () —	●メールアドレス